～当院で里帰り分娩をされる方へ（当院での分娩目的紹介を含む）～

里帰り分娩を決める前に、はじめにお読みください

1．遅くとも妊娠 32 週からは当院での健診をお願いします

妊娠中は体型も体調も刻々と変化し、里帰りしようとした時期に入院や体調不良で急遽できなくなることもあります。仕事や家庭など事情はあるかと思いますが、里帰りはできるだけ早くに済ませ、健診開始後に元の居住地へ戻る(行き来する)ことはなさらないでください。状況によっては当院で分娩できなくなることがあります。

2．当院は新患・再来ともに予約制です

診療申し込みは、遅くとも妊娠 26 週までに当院産婦人科に電話連絡をし、健診先での最後の妊婦健診後、健診先施設からの診療情報提供書（紹介状）をご本人より速やかに送付（郵送）していただくことが必要になります。

診療情報提供書（紹介状）が届いてから、当院の初診日時をお知らせし、正式に予約成立になります。

3．帝王切開で御出産されたことがある妊婦さんへ

これまでに帝王切開で御出産されたことがある妊婦さんは、妊娠 24 週までに当院産婦人科に電話連絡と健診先施設からの診療情報提供書（紹介状）を送付（郵送）するようにお願いします。当院での妊婦健診は、上記1と同様に遅くとも妊娠 32 週からは当院で行えるように準備をお願いします。妊娠 24 週までに一度診療情報提供書をいただきますが、当院妊婦健診（妊娠 32 週～）の際には最新の診療情報提供書をいただいておりますので、健診先医師にお伝えください。

4．双胎（ふたご）を妊娠中の妊婦さんへ

双胎を妊娠中の妊婦さんは、妊娠 24 週までに当院産婦人科に電話連絡と健診先施設からの診療情報提供書（紹介状）を送付（郵送）するようにお願いします。

当院での妊婦健診は、「一卵性双生児：妊娠 26 週から」、「二卵性双生児：妊娠 28 週から」受けられるように準備をお願いします。

5．切迫早産等の治療中の妊婦さんへ

居住地で切迫早産や合併症で治療中(特に入院中)の方は、現在の健診先医師から転院許可をいただいた上での転院をお願いします。健診先医師の許可が下りないまま、居住地から移動なさらないでください。無理に里帰りされた場合でも、病状によっては当院での受け入れができないことがあります。

6．合併症や持病がある妊婦さんへ

妊婦さんの合併症(BMI35 以上の高度肥満症例を含む)、精神疾患などを含む持病、胎児や胎盤の状態によっては、当院での分娩ができないことがあります。通院中の持病がある場合は、当科ならびに当院該当科への診療情報提供書（紹介状）を必ず持参されますようお願いします。

7. 本人・ご家族さまへのお願い

分娩予定日間際の健診や分娩に際しては、病院への送迎や緊急時の待機などでご実家の皆様のサポートが不可欠です。里帰り分娩を決める前に、家族内で十分に話し合ってください。

なお、主治医から注意を受けている方、持病のある方、太りすぎと言われている方は、お早めに連絡頂く様お願い致します。

8. 当院産婦人科の役割

当院は地域周産期センターとして、救急対応を円滑に担うためチーム制とし、担当医固定にはしておりません（例：女医希望等はお受けしておりません）。よって、その日の診療状況によっては、お待たせしてしまう可能性がありますので、ご理解をお願いします。体調不良時は、遠慮なくスタッフに声をかけてください。

また、臨床研修指定病院に指定されているため、臨床研修医も上級医の指導のもと診療に携わります。

✿✿✿　里帰り初診時に持参していただくもの　✿✿✿

① 里帰り前の健診先(病院・医院)からの診療情報提供書(紹介状)と検査結果コピー

② 合併症・持病で通院中の場合には、その担当医から当院該当科への診療情報提供書(紹介状)

③ 母子健康手帳

④ 保険証

⑤ 母子健康診査受診票(現在お住まいの自治体によっては当院で使用できない場合がありますので、 あらかじめ自治体の担当課にお尋ねください)

⑥ 産科医療保障制度登録証(里帰り前の健診先で登録済の場合には、写しを持参してください)

血液型は当院規定により再検査が必要です(自費)。

健診先で未実施の検査を追加することがあります(自費)。

ご不明な点は、産婦人科外来にお問い合わせください。

✿✿✿　電話連絡・FAX・郵送先のご案内　✿✿✿

【電話】必ず妊婦さん本人からの電話をお願いします。

電話番号：0197-71-1511(代表につながりますので、「産婦人科外来」とお伝えください)

受付時間：平日(月～金) 午後 3 時～5 時

【FAX】FAX 番号：0197-71-1881(地域連携室)

【郵送】〒024-8507 岩手県北上市村崎野 17-10 岩手県立中部病院 地域連携室